

まだまだ流行している「はしか」(麻疹)

最近、例年になく東京都を中心に「はしか」が大流行しています。それも成人の「はしか」で20歳前後の大学生がかかっているようです。早稲田大学を始め集団で発生している大学では、1週間程度の休講を余儀なくされています。

5月20日現在、今年に入って都内では1,285人の患者が報告されています。(大学生494、高校373、中学170、小学137、幼稚園・保育園17、その他96)この数字からわかるように小さい子どもよりも大学生の数が目立つのが特徴です。

昨日(6月2日)の新聞によると、カナダ修学旅行中の都内の女子高校生が「はしか」を発症して入院、カナダ保健局から全員ホテル待機を命じられ、また131人中41人が免疫のないことが判明し、ワクチンを接種されたばかりでなく、発症しない事を確認するまで帰国を拒否されているようです。

沖縄では、1998~2001年に大流行し9人の乳幼児が犠牲となりました。「はしか」の合併症は肺炎と脳炎があります。重症となる脳炎は約1,000人に1人の割合で発症し、その15%が死亡するといわれています。単純に計算すると、その当時6万人ほどの乳幼児が「はしか」にかかったということになります。当時県立病院では、次々と入院患者が「はしか」にかかり、収拾がつかないほどパニック状態になりました。

その後「沖縄県はしか0プロジェクト」を発足させ、2005年には「はしか発生0」

を達成しています。しかし、昨年からは県外からの修学旅行生によって次々と「はしか」が持ち込まれ、医療関係者は戦々恐々としているのが現状です。

「はしか」の流行を阻止するには、95%のワクチン接種率が必要ですが、県内では80%台ということです。この数値では流行を防ぐ事が難しいのです。



1回のワクチンでは10数年後には、免疫が切れる人が数%出るようです。また乳児期にワクチンを受けていない人もかなりいます。従って、今後もしばらく20歳前後の「はしか」は流行するだろうと予測されています。

それを受けて日本でもやっと昨年からは1歳(1期)と幼稚園児(2期)の2回、MRワクチン(麻疹・風疹2種混合)がスタートしました。是非この機会を逃さないでMRワクチンを受けてもらいたいものです。

1歳のお誕生日プレゼントとして

MRワクチンを!

(たまなは)

はしか(麻疹)について

1. 感染経路：飛沫・空気感染
2. 潜伏期：10~12日
3. 症状：発熱、咳、鼻水が3~5日続き、その後発疹が出現する。(4~5日)